

いま、保育現場では

★4回目の緊急事態宣言

コロナ禍の中で2021年が始まり、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置と感染拡大が落ち着いた中での新年度を迎えました。生活環境も変わりつつある中で『with コロナ時代の子育てを支えていく保育園』として、感染防止対策をしながら、どうしていけばと試行錯誤しながら保育・行事等を進めています。子どもたちの成長のために必要な生活・体験を保障すること、保護者の就労を支えること、子どもたちとその家族、職員とその家族の健康と命を守ることに責任を重く感じ、日々保育しています。

★江東区の現状

江東区はここ数年、地域毎の保育需要に応じた効果的な施設整備等を継続し、待機児童解消を目指すとして数百人規模の保育施設整備を行いました。しかし、コロナ状況も加わり、2021年度江東区全体で0歳94名、1歳73名、2歳125名、3歳248名、4歳380名、5歳542名、合計1462名という認可保育園の欠員が生じています。認証保育所にも大きな影響が出ていて、運営に支障をきたす事態となっています。今年度の待機児童は**4名**との発表がありました。

★『新子育て安心プラン』って？

2020年の暮れも押し迫った12月21日、政府が『新子育て安心プラン』を発表しました。2021年度から2024年度までの4年間で全国の保育所の定員を約14万人増やすとしています。依然として待機児童対策は重要ではありますが、「短時間勤務の保育士の活躍促進」が掲げられ、待機児童がいる市区町村で「各クラスに配置すべき常勤保育士1人の代わりに短時間保育士2人でも可」とする規制緩和(※)が含まれています。これは、子どもたちに最

善の利益を保障する視点を置き去りにした施策であり、認めることはできません。

クラス担任は、月齢差の大きい乳幼児が集団生活をする中で、一人ひとりに目を配り、それぞれが楽しく主体的に活動できるように保育を考えています。その内容には生活面の援助から、心身の発達を促す保育まで多岐にわたります。また、3歳未満児については、子どもと保育士とのアタッチメント(愛着関係)が必須です。1日・1週間・1ヵ月・1年を通して子どもたちの情緒を安定させ、職員間の連携を図り、保育の連続性を保つことを大切にしている保育が午前と午後で担任が変わるとなったら、誰が責任を持って保育し、子どもたちの生活や発達を保障するのでしょうか？



★何が問題なの？どうすればいいの？

これまで、政府は保育の公的責任を後退させ、規制緩和や条件を整えない多様な保育施設の活用で保育の市場化を押し進めてきました。しかし、待機児童ゼロ政策は達成できませんでした。江東区は今のところ、(※)の規制緩和は行わないとしています。保育園の面積基準や職員配置基準の見直しが先だと思えます。基準が改善されることにより、保育の質の向上につながります。子どもたちがのびのびと心豊かに成長・発達できる、保護者が安心して預けられる、職員がいきいきと働き続けられるように規制緩和ストップ!の声をあげていきましょう。保護者の皆さん、職員の皆さん、署名等のご協力をお願いいたします。

運動遊び

あゆみ保育園では、部屋の中でマット運動や鉄棒・縄跳びなどをします。小さな子のクラスでは、巧技台を使った遊びを楽しむ中で体の動かし方を知り、コントロールする力をつけることができます。室内だけでなく毎日のお散歩の中でも走ったり大型遊具で遊んだりして、十分体を動かして楽しんでいます。

また、リズム遊びでは職員が弾くピアノの音に合わせていろいろな表現方法で体を動かして楽しんでいます。リズム遊びを通してしっかりと体幹を鍛え、バランスの取れたしなやかな体作りができます。

時には広いホールを借りて、雑巾がけレースやバランスボール遊びで大きく体を使って遊びます。



しなやかな身体
を作ります！



足腰をしっかり、
雑巾がけレース。
ヨーイドン！



ともそだちネットの保育の魅力

～ともそだちネットに取り組んでいる保育をご紹介します～

食育



食べ物や食事への興味関心を育むことは、子どもたちが一生を通して健康的な食生活が送れるようにする【食育】の第一歩です。各園ごとに野菜を育てたり、食材に直接触れる機会を持ち、食に興味を持てるようにしています。

つくしの家保育室では、スイカ割りのエピソードを紹介します。スイカを割り、その場でみんなが食べたときの事です。いつも給食ではスイカを食べないAちゃんが「もっと食べたい！」とおかわりをして食べていたのです。スイカ割りをして楽しかった体験、その場の雰囲気、友達がおいしそうに食べる姿が食べる意欲につながったと嬉しい気持ちになりました。Aちゃんの心が動いた瞬間でした！

甘くておいしい
スイカでした！



大きいなあ！
おいしそう！



お泊り保育

陽だまり保育園では、年長児が外部の施設（千葉市少年自然の家）に一泊二日お泊り保育に行き、保育園で普段経験できない自然体験（泥んこ遊び・自然探検・ザリガニ釣り・キャンプファイヤー）をしています。田んぼでの泥んこ遊びでは、全身泥まみれになっています。用水路や田んぼでのザリガニ釣りは、じっと待たないと釣れない経験をし、夜のキャンプファイヤーでは燃え上がる炎に驚き、熱とともにその美しさを体感します。炎を囲んで踊るダンスは楽しさいっぱいです。

就寝時は不安や緊張もありますが、大好きなお友達や大人と一緒にだからこそ、その不安も乗り越えられます。お家から離れて自分で身支度を行う自立への第一歩であり、グループでの探検（みんなで一つの課題に挑戦する）を通して友達と協力すること（仲間意識や協調性）を経験し帰ってきた子どもたちの顔は、自信に満ち溢れています。



泥んこまみれになって、
大はしゃぎ！

じっと待つこと
がポイント！



さんぽ



「今日は、どこに行くの？」と外あそびを楽しみにしている子どもたち。法人では、年齢に合わせた距離を歩くこと、自然に触れることで丈夫な身体づくりをしています。植物や昆虫を見つけて、四季を感じるすることができます。

ある日、絵本「ぞうくんのあめふりさんぽ」を見て「たのしそう！」と子どもたちが話していたので、さくらんぼ保育室でも計画しました。お家からレインコートや長靴を持ってきて興奮している子どもたち。雨の音、におい、感触を感じながら、水たまりにジャンプして入ったり、濡れた土を触ったり、身体全体で雨を感じていました。

あめふりさんぽ、
楽しいね！



ほら、見て！
虫がいたよ。



ともそだちネット 法人研修

法人の理念や方針を理解し、職員のスキルアップを図るために法人独自で研修に取り組んでいます。今年度前半は、法人の保育をさらに深め実践につなげる内容として、お二人のお話をリモートでお聞きました。

「受容と信頼関係の保育」5月20日

『信頼関係ってどうやって築いていけばいいのかな?』保育士になった人の多くが一度は考えることではないでしょうか。そんな疑問をより深く考えるため子育てアドバイザーで保育士の須賀義一先生にご登壇いただきました。まずは子どもを信頼すること、ありのままの姿を受け止め、認めていくことで子どもの成長につながっていくことを学びました。

<参加者の感想>

- ・『〇〇をできるようになってほしいという思いが強すぎるとできないところに目がいってしまう』というお話が印象に残りました。
- ・『価値判断を抜きにして現状を受け止める。今は無理でもそのうちできるようになる存在なんだと受け止める』心に刻んで保育していきたいです。



須賀 義一
先生

保育士としての知識、主婦として子育てした経験を綴ったブログ『保育士おとーちゃん子育て日記』が人気を博す。著書に『保育士おとーちゃんの「叱らなくていい子育て』』『保育士おとーちゃんの「心がラクになる子育て』』（PHP 研究所）がある。

「親子に寄り添う中で大切にしたいこと」6月17日

昨年度から法人では職員の心の健康を保つためのサポートを『こころスペース奏』にお願いしています。今年で2度目の法人研修のご登壇もお願いしまして昨年よりも一歩進んだお話をお聴きすることが出来ました。『人はどうして悩むのか?』というところから人の悩みに本当の意味で耳を傾けるにはどうしたらいいのかなど人との関わりに大切なことを学びました。

<参加者の感想>

- ・人は悩んでいる自分を受け入れてほしいから相談をする。心の中の悩みを見ることは簡単なことではないけど寄り添うことはとても大切だと知りました。
- ・相談を受けるときに「こうあるべき」というこちらの思いが邪魔になることもあると知りました。



中 香里
先生

大学病院、児童医療福祉施設、精神科デイケアなど看護師としての経験を持ち、乳幼児から思春期にある子どもたちとその家族の支援に関わる。平成20年より「こころスペース奏」のカウンセラーとして、多くの被虐待者のカウンセリングを行っている。

永年勤続表彰者

(10年)	(5年)
福成 美和 (つくし)	川島 真澄 (ゆりかご)
深津 綾 (ひまわり)	竹下 霞 (ゆりかご)
山口 絵美 (あゆみ)	蓑田 友理 (ひよっこ)
	尾本 知佐 (つくし)
	今井 さえ子 (つくし)
	西崎 彩葉 (あゆみ)
	足助 亜由美 (あゆみ)



法人全体会議にて
Zoom 越しに表彰、
おめでとう!

今後の法人研修の予定

- 9月 「受容と信頼関係の保育」② 須賀義一先生 (5月の研修の続きです)
- 11月 事例検討
- 不定期 特別支援児研究会 笹原きよみ先生

あ と が き

1年前の今頃、『来年はもっと状況が良くなるよね・・・?』と漠然と思っていた新型コロナウィルスですが、実際はまだ不安なことばかりです。その中でも各園が工夫して特色ある保育をしている様子やこの状況下でも大切にしていることを改めてご紹介しました。是非、ご覧ください! (F)